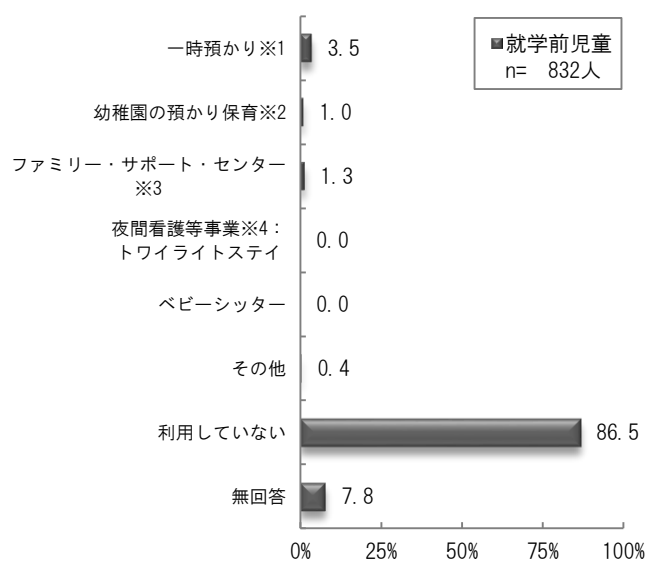


## (2) 不定期の一時保育の利用について

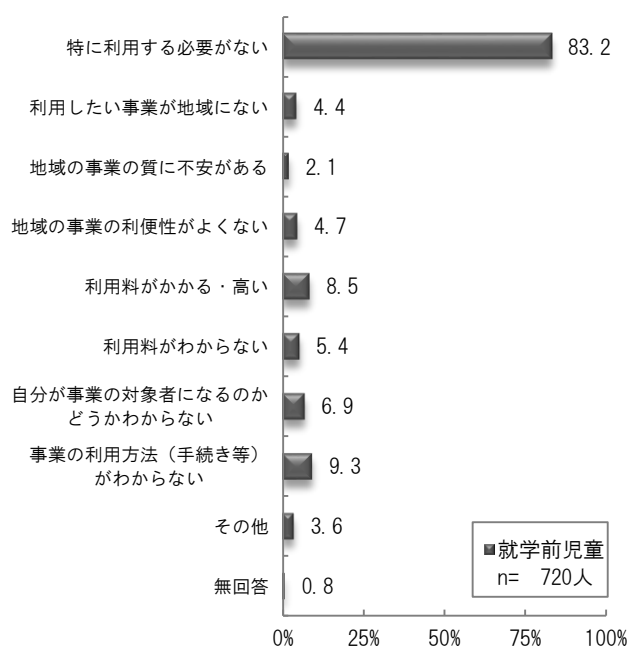
一時保育事業の利用状況をみると、「一時預かり」(3.5%)、「ファミリー・サポート・センター」(1.3%)と、あまり利用がない状況です。

利用していない理由は、「特に利用する必要がない」(83.2%)、「事業の利用方法が(手続き等)がわからない」(9.3%)、「利用料がかかる・高い」(8.5%)の順に多くなっています。

問 22 一時保育事業の利用状況



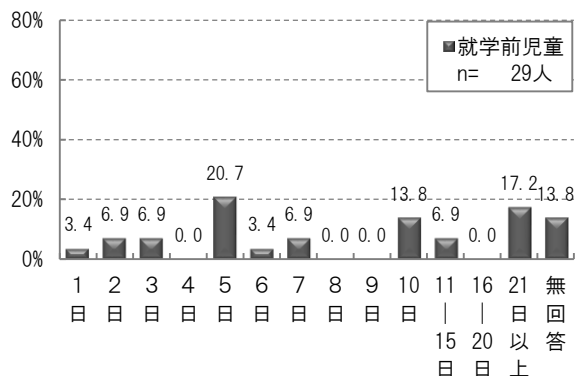
問 22-1 一時保育を利用していない理由



- ※1 一時預かり：私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業
- ※2 幼稚園の預かり保育：通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ
- ※3 ファミリー・サポート・センター：地域住民が子どもを預かる事業
- ※4 夜間看護等事業：児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

事業ごとに利用日数をみると、一時預かりは、年間「5日」(20.7%)、「21日以上」(17.2%)、「10日」(13.8%)の順に多くなっています。

問 22.1 一時預かり (年間)



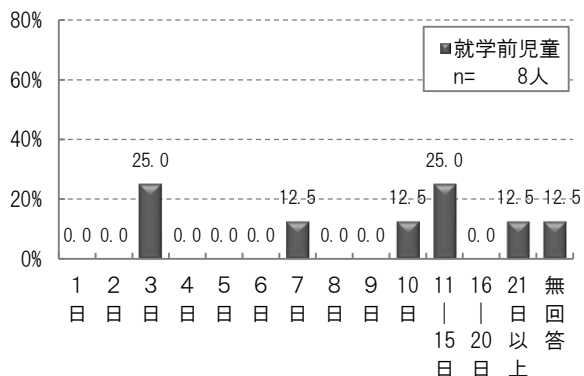
幼稚園の預かり保育は、年間「3日」「11-15日」(各 25.0%)、「7日」「10日」「21日以上」(各 12.5%)の順に多くなっています。

ファミリー・サポート・センターは、「1日」「5日」(各 27.3%)、「2日」「7日」「10日」「11-15日」(各 9.1%)の順に多くなっています。

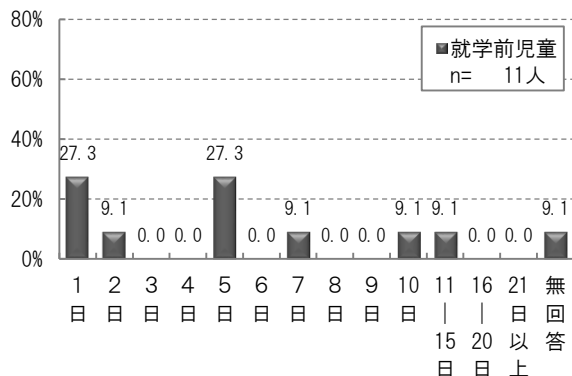
夜間養護等事業(トワイライトステイ)とベビーシッターについては利用者がいませんでした。

その他の事業は、利用者ごく少数となりますが、「2日」「16-20日」(各 33.3%)となっています。

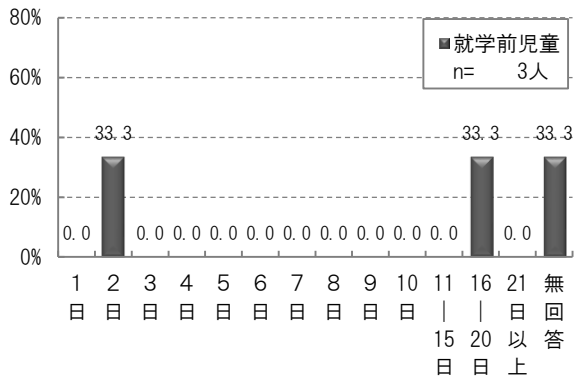
問 22.2 幼稚園の預かり保育 (年間)



問 22.3 ファミリー・サポート・センター (年間)

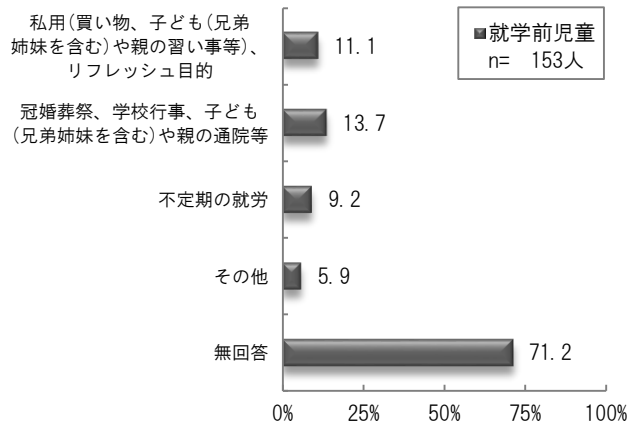
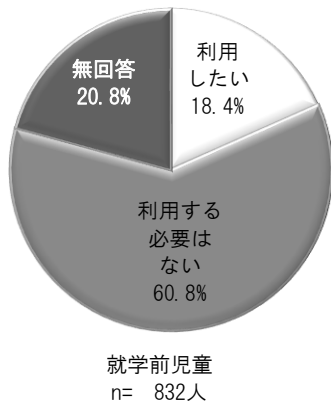


問 22.6 その他（年間）

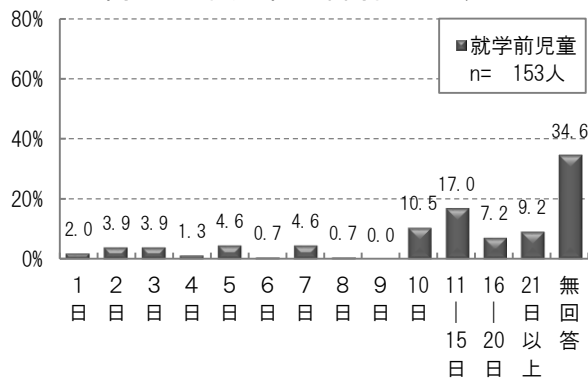


一時保育事業の利用希望とその目的は、「利用する必要はない」(60.8%)、「利用したい」(18.4%)となっています。利用したい方の利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」(13.7%)、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」(11.1%)、「不特定の就労」(9.2%)の順に多くなっています。

問 23 一時保育事業の利用希望とその目的



問 23.1 利用希望年間合計日数



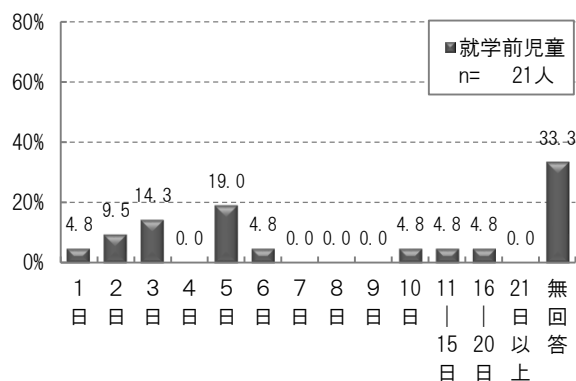
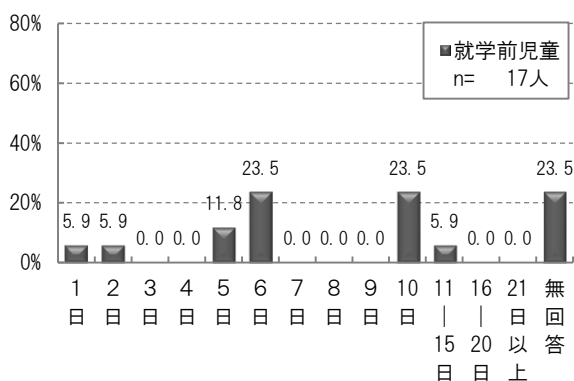
目的ごとの希望利用日数をみると、私用・リフレッシュ目的は、年間「6日」「10日」（各 23.5%）、「5日」（11.8%）、「1日」「2日」「11-15日」（各 5.9%）の順に多くなっています。

冠婚葬祭、学校行事、家族の通院目的は、「5日」（19.0%）、「3日」（14.3%）、「2日」（9.5%）、「1日」「6日」「10日」「11-15日」「16-20日」（各 4.8%）の順に多くなっています。

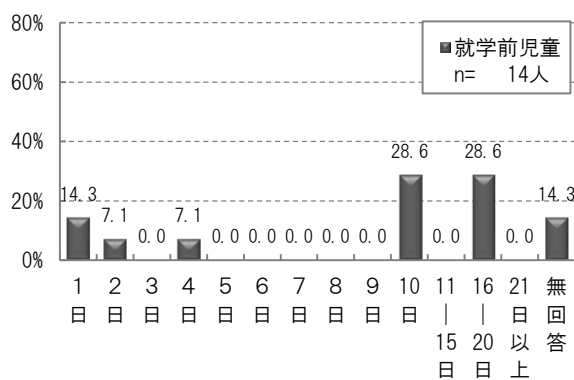
不定期の就労目的は、「10日」「16-20日」（各 28.6%）、「1日」（14.3%）、「2日」「4日」（各 7.1%）の順に多くなっています。

その他の目的は、「2日」「5日」（各 22.2%）、「1日」「3日」「21日以上」（各 11.1%）の順に多くなっています。

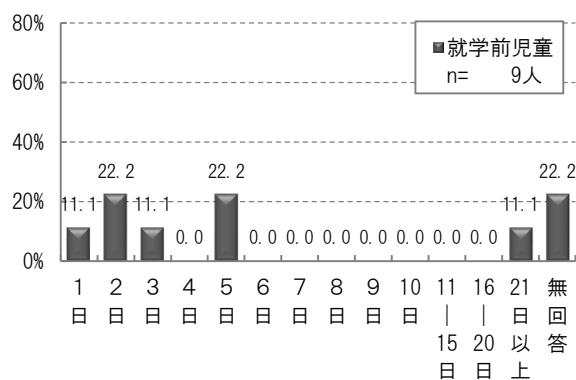
問 23.1. ① 私用、リフレッシュ目的 問 23.1. ② 冠婚葬祭、学校行事、家族の通院目的



問 23.1. ③ 不定期の就労目的

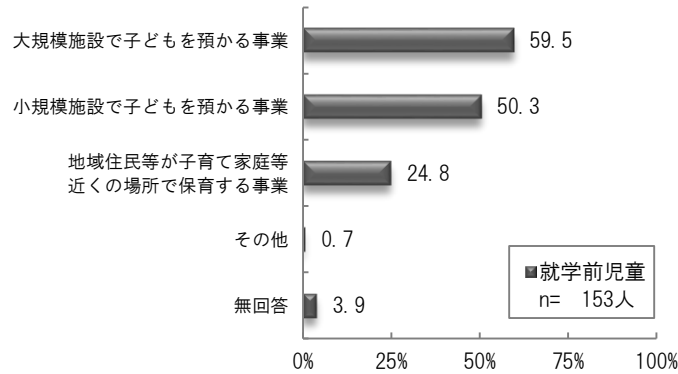


問 23.1. ④ その他の目的



子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、「大規模施設で子供を預かる事業」(59.5%)、「小規模施設で子供を預かる事業」(50.3%)、「地域住民等が子育て家庭等近くで保育する事業」(24.8%)の順に多くなっています。

問 23-1 子どもを預ける場合の望ましい事業形態



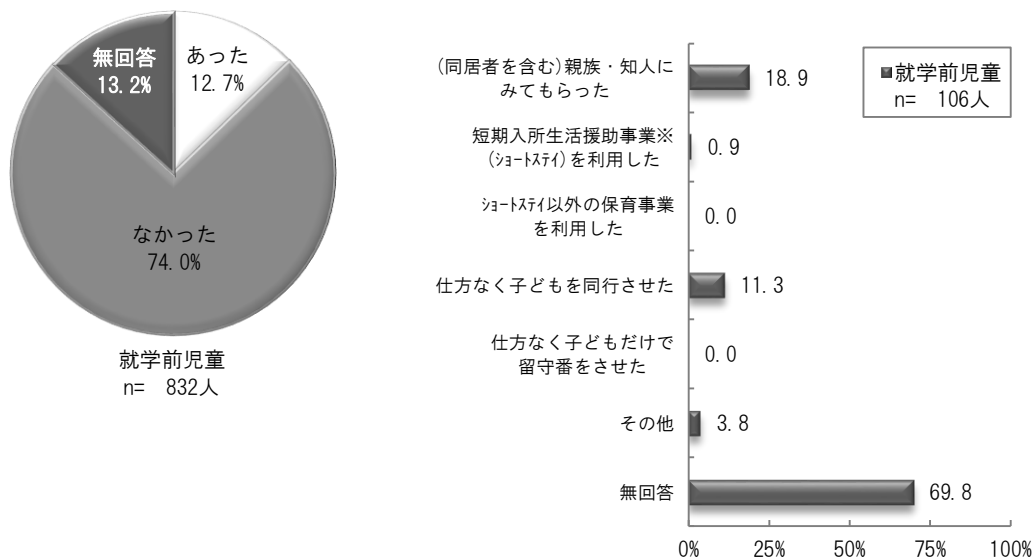
### (3) 宿泊を伴う一時保育の利用について

この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けた方は、1割強います。

この対処方法は、「(同居人を含む)親族・知人にみてもらった」(18.9%)が最も多くなっています。また、親族・知人にみてもらった場合の困難度は、「どちらかという困難」(40.0%)、「非常に困難」(15.0%)となっています。

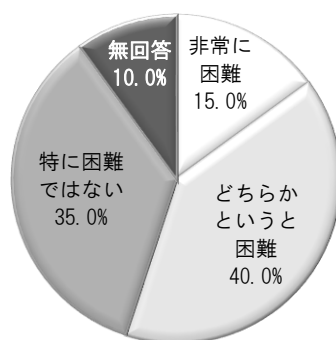
問 24 この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無

問 24.1 1年間の対処方法



※短期入所生活援助事業：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業

問 24-1 親族・知人にみてもらった場合の困難度



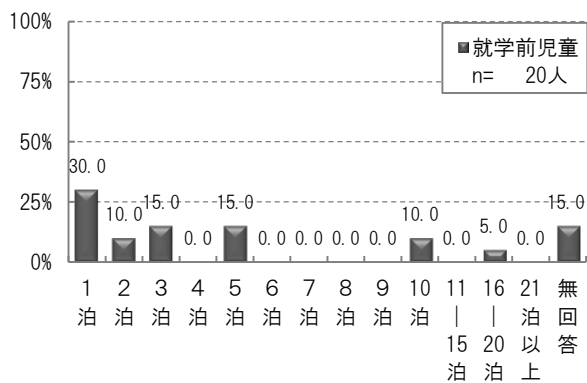
就学前児童  
n= 20人

(同居者を含む) 親族・知人に預けた泊数は、「1泊」(30.0%)、「3泊」「5泊」(各 15.0%)、「2泊」「10泊」(各 10.0%)の順になっています。

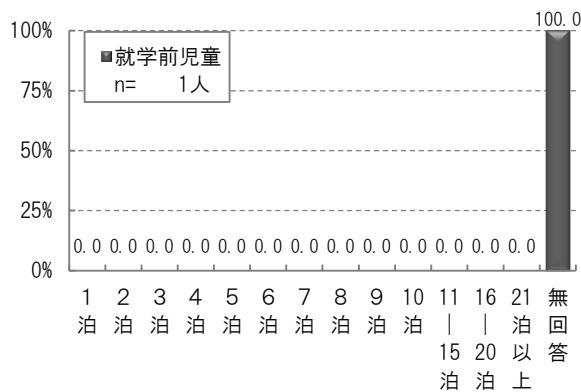
ショートステイを利用した泊数は、該当者が1人で「無回答」でした。子どもを同行させた泊数は、「1泊」(41.7%)、「2泊」(16.7%)の順に多くなっています。その他の対処をした泊数では、該当者が4人で「1泊」「21泊以上」(各 25.0%)となっています。

また、ショートステイ以外を利用した方や子どもだけで留守番をさせたという方はいませんでした。

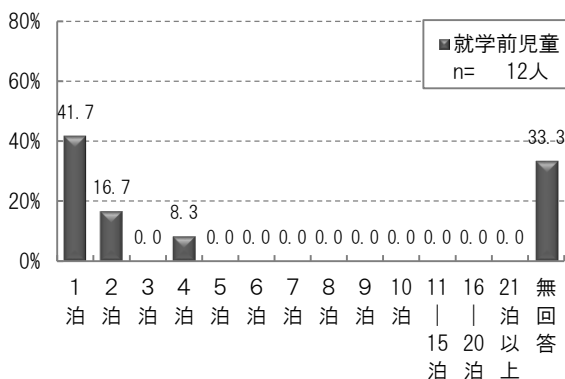
問 24.1.① (同居者を含む) 親族・知人に預けた泊数



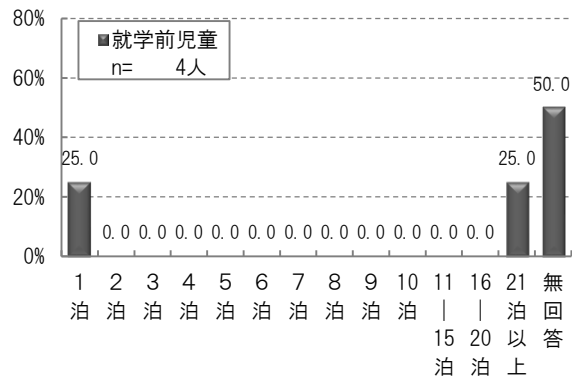
問 24.1.② ショートステイを利用した泊数



問 24.1.④ 子どもを同行させた泊数



問 24.1.⑥ その他の対処をした泊数



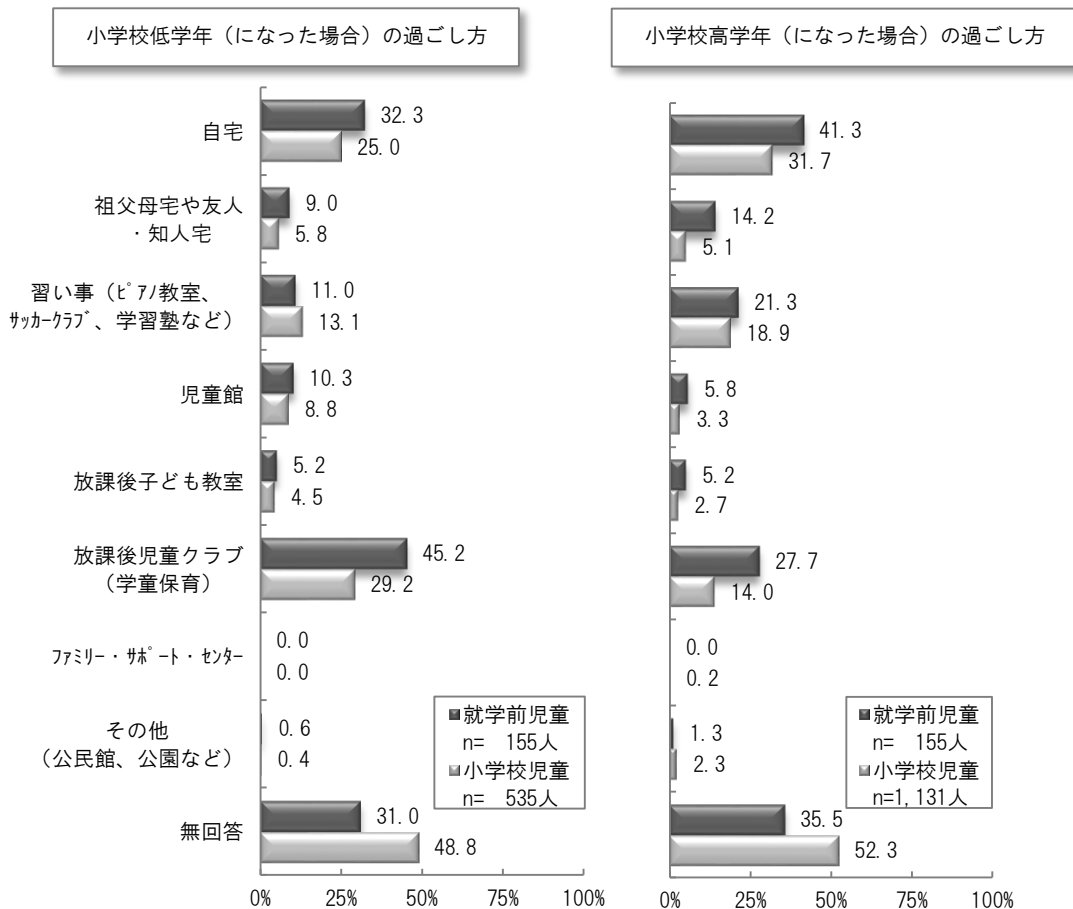
### 3 放課後の過ごし方について

#### (1) 平日の放課後の過ごし方について

放課後の過ごし方をみると、就学前児童では、小学校低学年のうち「放課後児童クラブ（学童保育）」（45.2%）、「自宅」（32.3%）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（11.0%）、「児童館」（10.3%）の順に希望しています。小学校高学年になると、「放課後児童クラブ（学童保育）」（27.7%）が17.5ポイント減少した一方で、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（21.3%）が10.3ポイント増加しています。

また、小学校児童では、小学校低学年のうち「放課後児童クラブ（学童保育）」（29.2%）、「自宅」（25.0%）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（13.1%）、「児童館」（8.8%）の順に希望しています。小学校高学年になると、「放課後児童クラブ（学童保育）」（14.0%）が15.2ポイント減少した一方で、「自宅」（31.7%）「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（18.9%）がやや増加しています。

問 25・問 26[問 10・問 11] 放課後の過ごし方の希望



※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生、「小学校児童」は1～6年生の意味です。

就学前児童の保護者が放課後を過ごさせたい具体的な場所と日数をみると、「自宅」では「5日」（低学年時期 40.0％・高学年時期 28.1％）が最も多くなっています。「祖父母宅や友人・知人宅」では、「5日」（低学年時期 42.9％・高学年時期 31.8％）が最も多くなっています。

「塾や習い事」では、「2日」（低学年時期 52.9％・高学年時期 36.4％）が最も多くなっています。「児童館」では、「5日」（低学年時期 37.5％・高学年時期 44.4％）が最も多くなっています。「放課後子ども教室」では、低学年時期において「1日」「5日」（各 25.0％）、高学年時期において「1日」（37.5％）が最も多くなっています。「放課後児童クラブ」では、「5日」（低学年時期 61.4％・高学年時期 48.8％）が最も多くなっています。「ファミリー・サポート・センター」の利用希望者はいませんでした。

一方、小学校児童の保護者が放課後を過ごさせたい具体的な場所と日数をみると、「自宅」では「5日」（低学年時期 24.6％・高学年時期 40.1％）が最も多くなっています。「祖父母宅や友人・知人宅」では「5日」（低学年時期 35.5％・高学年時期 29.3％）が最も多くなっています。

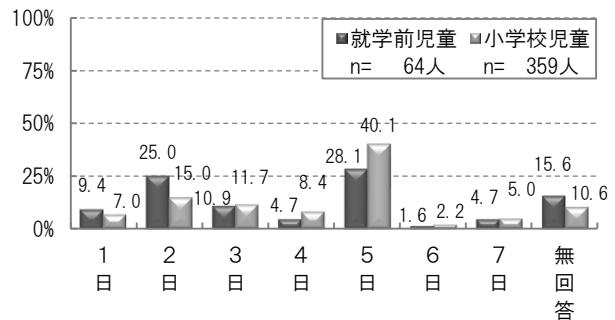
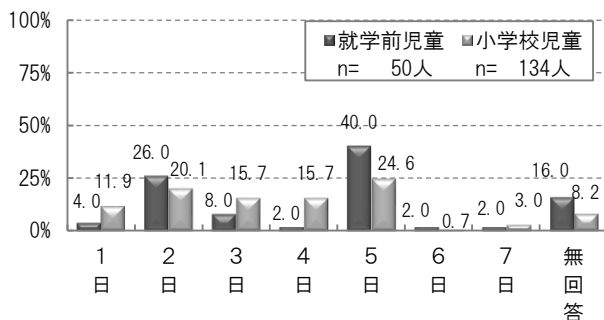
「塾や習い事」では、低学年時期において「1日」（48.6％）、高学年時期において「2日」（26.2％）が最も多くなっています。「児童館」では、「5日」（低学年時期 31.9％・高学年時期 29.7％）が最も多くなっています。「放課後子ども教室」では、低学年時期において「1日」（50.0％）、高学年時期において「1日」「5日」（各 29.0％）が最も多くなっています。「放課後児童クラブ」では、「5日」（低学年時期 59.6％・高学年時期 45.6％）が最も多くなっています。「ファミリー・サポート・センター」では、利用希望者が2人とごく少数となりますが、高学年時期において「1日」（100.0％）となっています。

問 25・問 26[問 10・問 11] 放課後の過ごし方の希望日数

小学校低学年（になった場合）の過ごし方

小学校高学年（になった場合）の過ごし方

自宅

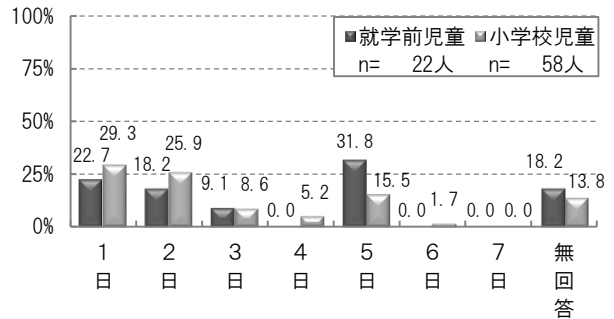
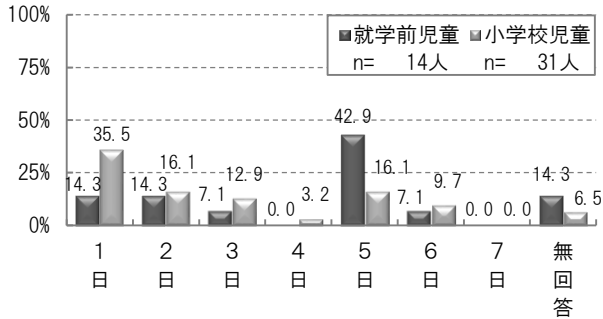




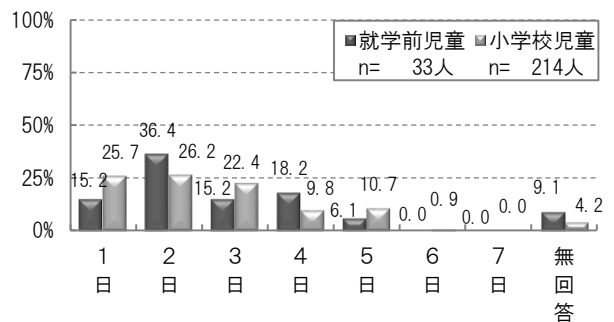
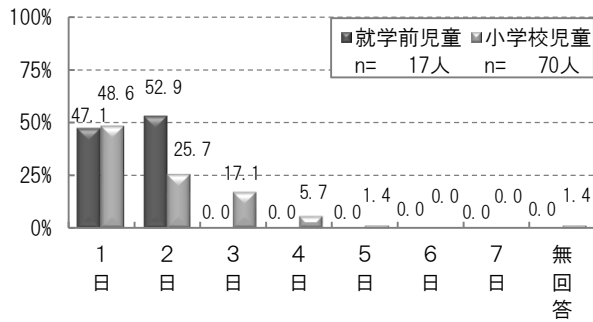
小学校低学年（になった場合）の過ごし方

小学校高学年（になった場合）の過ごし方

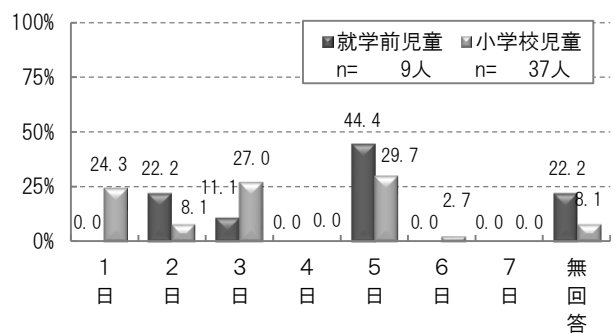
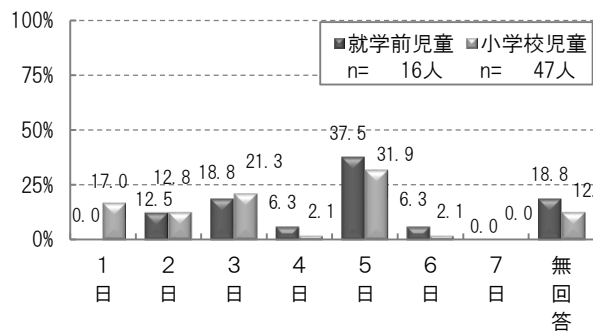
祖父母宅や友人・知人宅



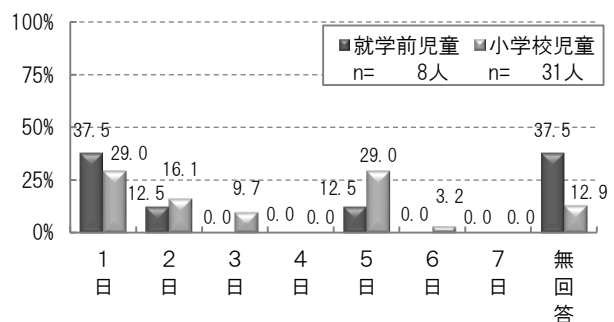
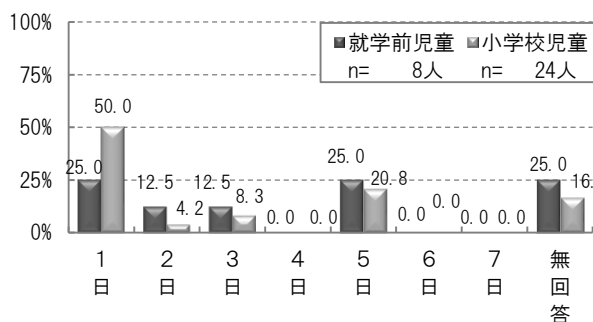
塾や習い事



児童館



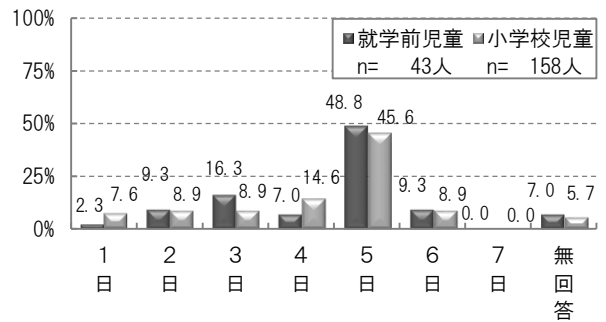
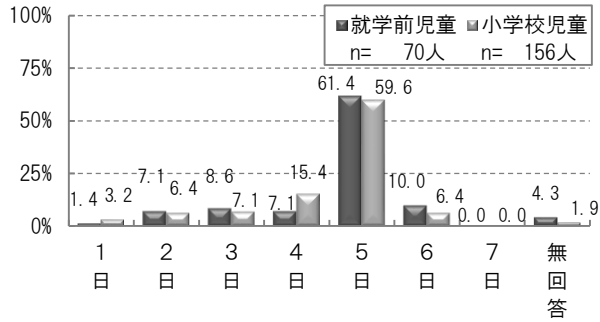
放課後子ども教室



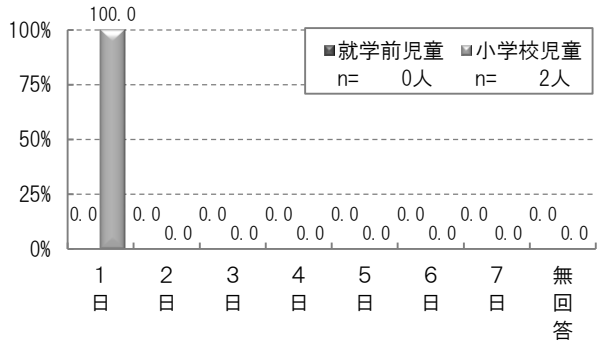
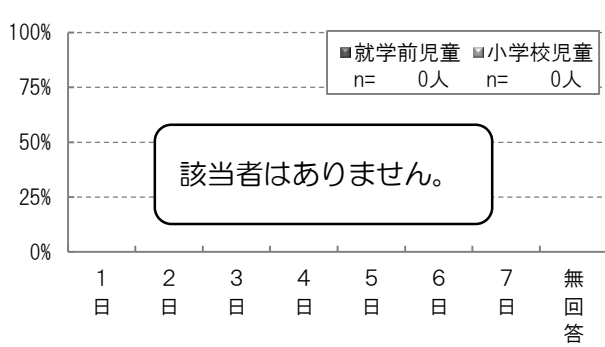
小学校低学年（になった場合）の過ごし方

小学校高学年（になった場合）の過ごし方

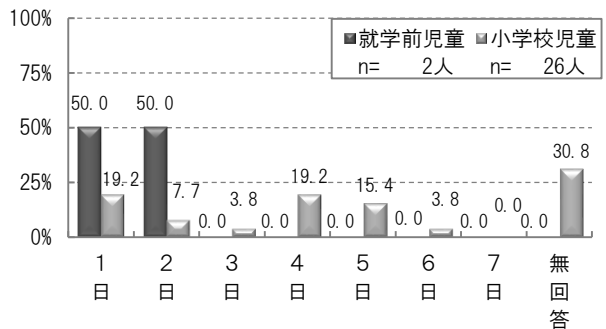
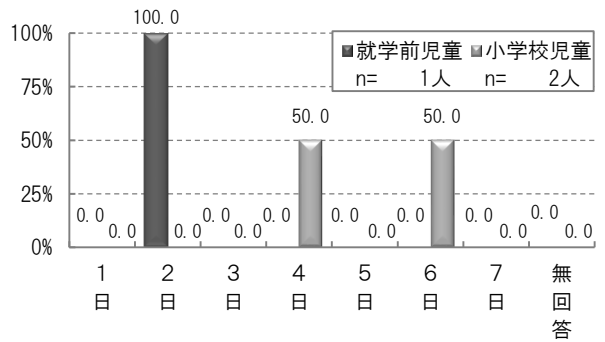
放課後児童クラブ



ファミリー・サポート・センター



その他



下校時から放課後児童クラブを何時まで利用したいかをみると、就学前児童では低学年の時期で「17時台」(42.9%)、「18時台」(41.4%)、「16時台」(4.3%)の順、高学年の時期で「18時台」(44.2%)、「17時台」(27.9%)、「19時台」(7.0%)の順に希望し、高学年の時期で「18時台」以後の利用希望がやや増えています。

一方、小学校児童では低学年の時期で「18時台」(42.3%)、「17時台」(40.4%)、「16時台」(5.1%)の順、高学年の時期で「18時台」(43.7%)、「17時台」(32.9%)、「19時台」(4.4%)の順に希望しています。就学前児童と同様に、高学年の時期で「18時台」以後の利用希望がやや増加しています。

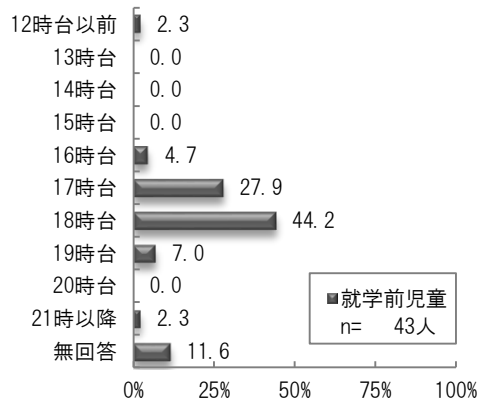
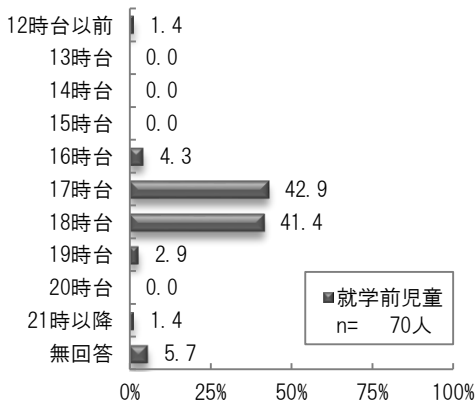
「放課後児童クラブ」を選んだ場合の具体的な利用希望時間（就学前児童の希望）

【小学校低学年の時期】

【小学校高学年の時期】

問 25. 6. 1 下校時からの利用希望時刻

問 26. 6. 1 下校時からの利用希望時刻



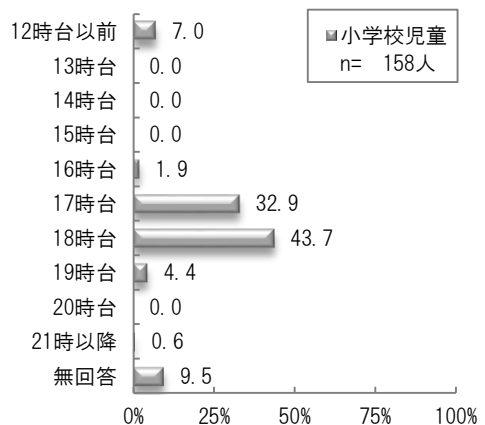
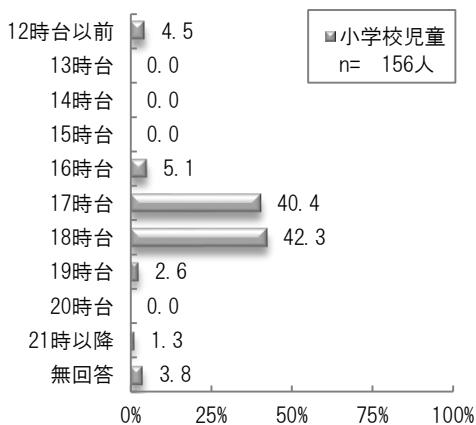
「放課後児童クラブ」を選んだ場合の具体的な利用希望時間（小学校児童の希望）

【小学校低学年の時期】

【小学校高学年の時期】

[問 10] . 6. 1 下校時からの利用希望時刻

[問 11] . 6. 1 下校時からの利用希望時刻



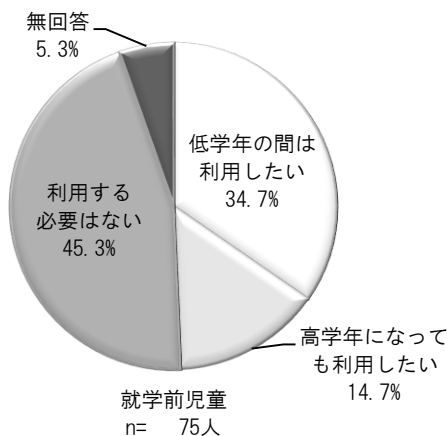
(2) 土曜・休日の放課後児童クラブ利用について

放課後児童クラブの土曜・休日の利用希望をみると、就学前児童では「低学年の間は利用したい」（土曜 34.7%・休日 12.0%）、「高学年になっても利用したい」（土曜 14.7%・休日 5.3%）、「利用する必要はない」（土曜 45.3%・休日 74.7%）となっています。一方、小学校児童では「3年生まで利用したい」（土曜 19.6%・休日 5.8%）、「4～6年生まで利用したい」（土曜 21.8%・休日 10.7%）、「利用する必要はない」（土曜 53.3%・休日 79.1%）となっており、小学校児童の希望割合がやや減少しています。

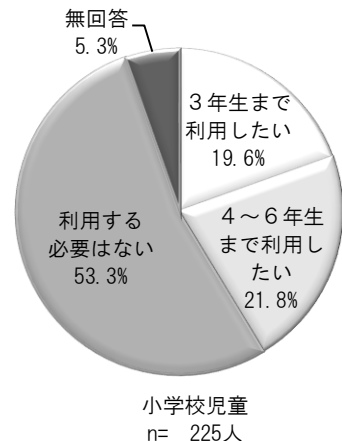
土曜日の希望利用開始時刻は、両者ともに「8時台」（就学前児童 51.4%・小学校児童 48.4%）が最も多く、希望利用終了時刻では「18時台」（就学前児童 40.5%・小学校児童 41.9%）が最も多くなっています。

休日の希望利用開始時刻は、就学前児童で「8時台」（46.2%）、小学校児童では「7時台」（48.6%）が最も多く、希望利用終了時刻は、就学前児童で「17時台」（38.5%）、小学校児童では「18時台」（43.2%）が最も多くなっています。

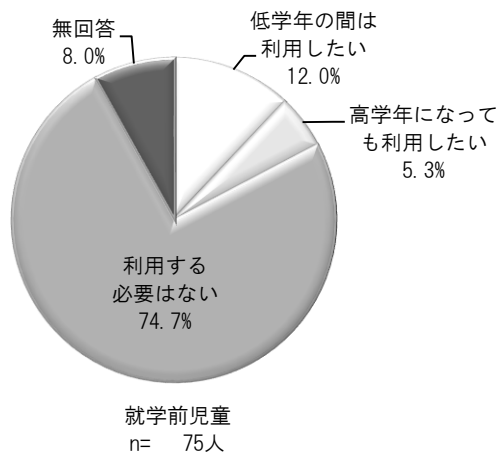
問 27(1) 土曜日の利用希望



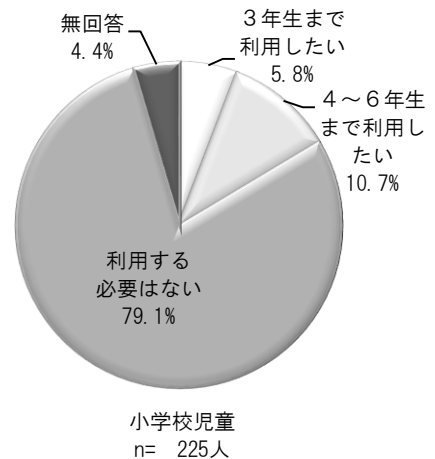
[問 12(1)] 土曜日の利用希望



問 27(2) 日曜・祝日の利用希望



[問 12(2)] 日曜・祝日の利用希望



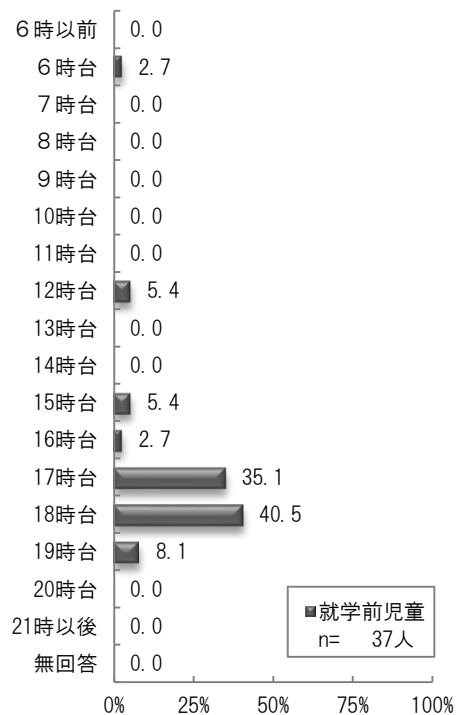
問 27(1).1 土曜日の希望利用開始時間



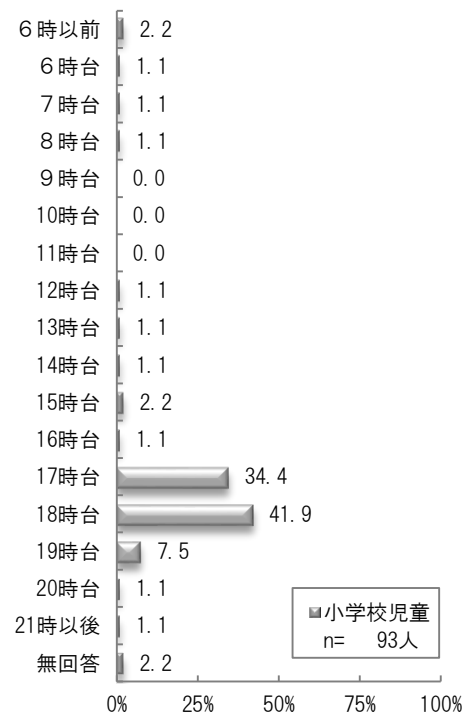
[問 12(1).1] 土曜日の希望利用開始時間



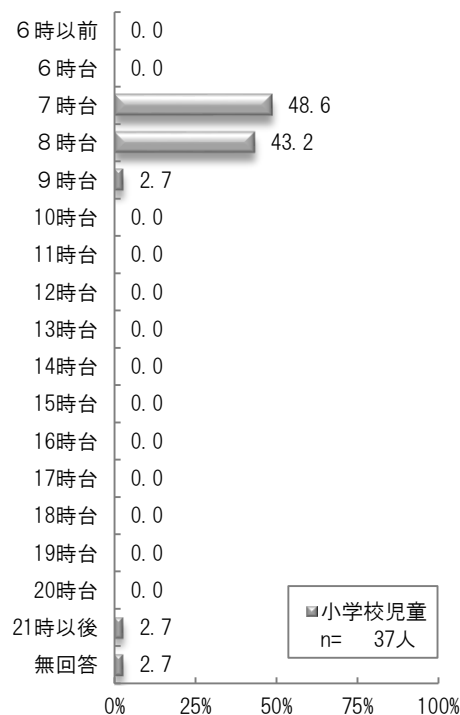
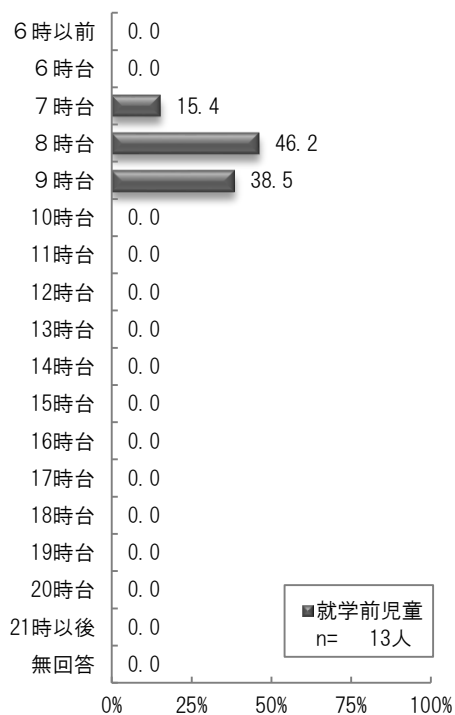
問 27(1).2 土曜日の希望利用終了時間



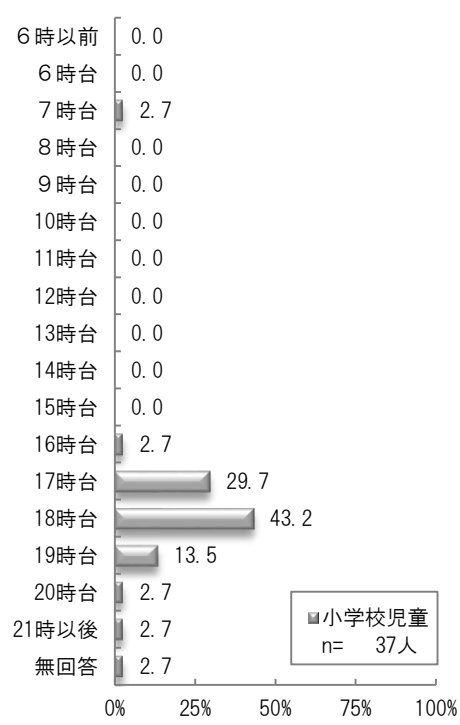
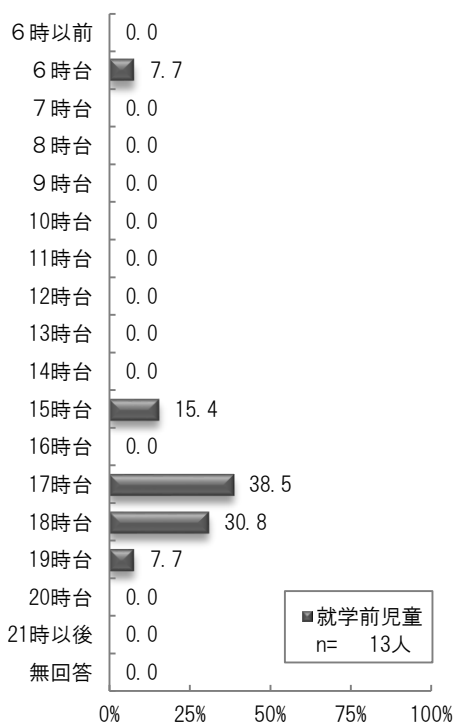
[問 12(1).2] 土曜日の希望利用終了時間



問 27(2).1 日曜・祝日の希望利用開始時間 [問 12(2).1] 日曜・祝日の希望利用開始時間



問 27(2).2 日曜・祝日の希望利用終了時間 [問 12(2).2] 日曜・祝日の希望利用終了時間

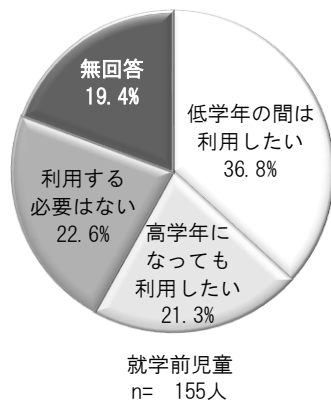


(3) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用について

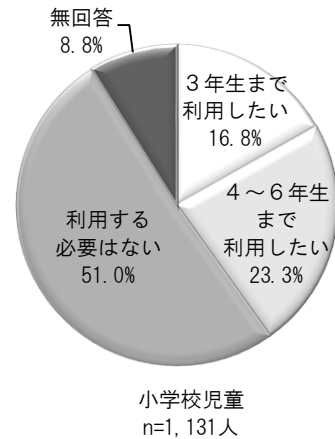
長期休暇中の利用希望をみると、就学前児童では「低学年の間は利用したい」(36.8%)、「高学年になっても利用したい」(21.3%)、「利用する必要はない」(22.6%)となっています。一方、小学校児童では「3年生まで利用したい」(16.8%)、「4～6年生まで利用したい」(23.3%)、「利用する必要はない」(51.0%)となっており、小学校児童の希望割合が大きく低下しています。

希望利用開始時刻は、「8時台」(就学前児童 51.1%・小学校児童 51.8%)が最も多く、希望利用終了時刻は「18時台」(就学前児童 40.0%・小学校児童 38.8%)が最も多くなっています。

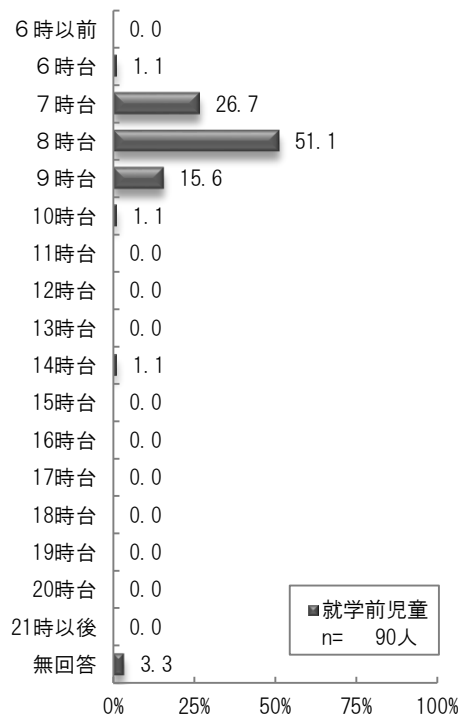
問 28 長期休暇中の利用希望



[問 13] 長期休暇中の利用希望



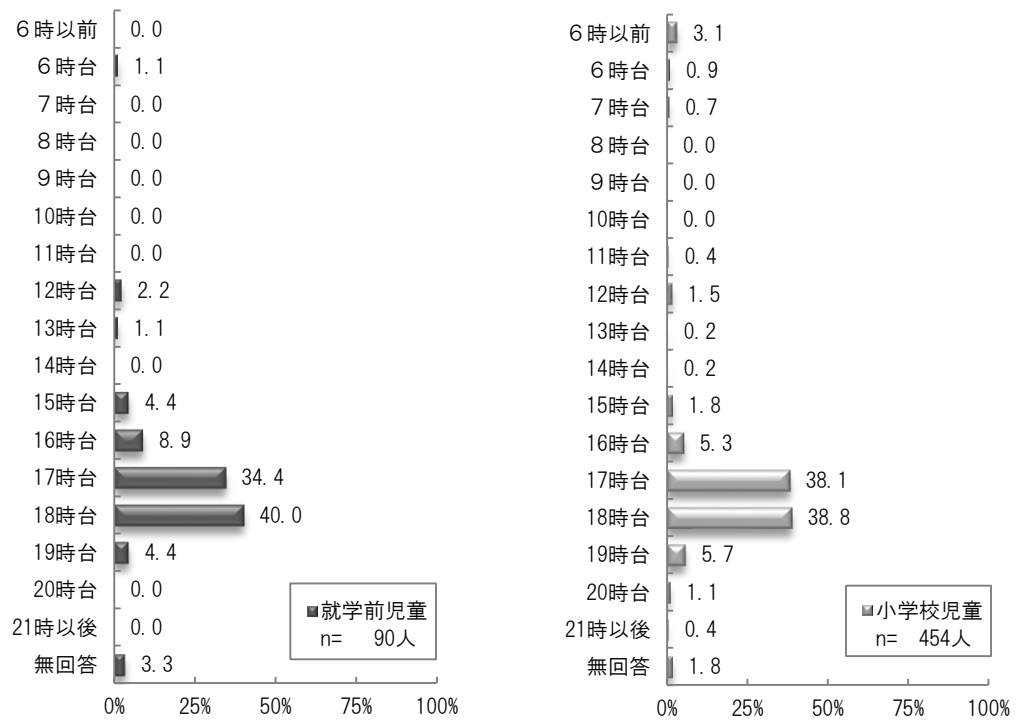
問 28.1 長期休暇中の希望利用開始時間



[問 13.1] 長期休暇中の希望利用開始時間



問 28.2 長期休暇中の希望利用終了時間 [問 13.2] 長期休暇中の希望利用終了時間

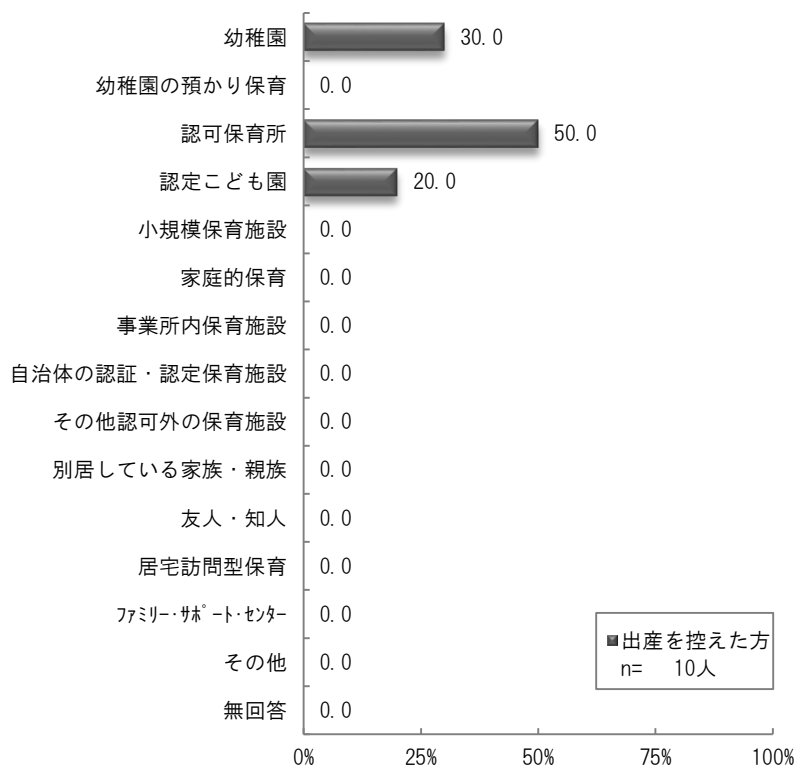




## 4 出産を控えた方の預けたい場所・利用したい事業

教育や保育のために利用したい事業をみると、「認可保育所」(50.0%)、「幼稚園」(30.0%)、「認定こども園」(20.0%)の順に多くなっており、実施場所は全員が「北秋田市内」(100.0%)と回答しています。

〈問 10〉 預けたい場所・教育や保育のために利用したい事業



〈問 10-1〉 教育・保育の希望実施場所

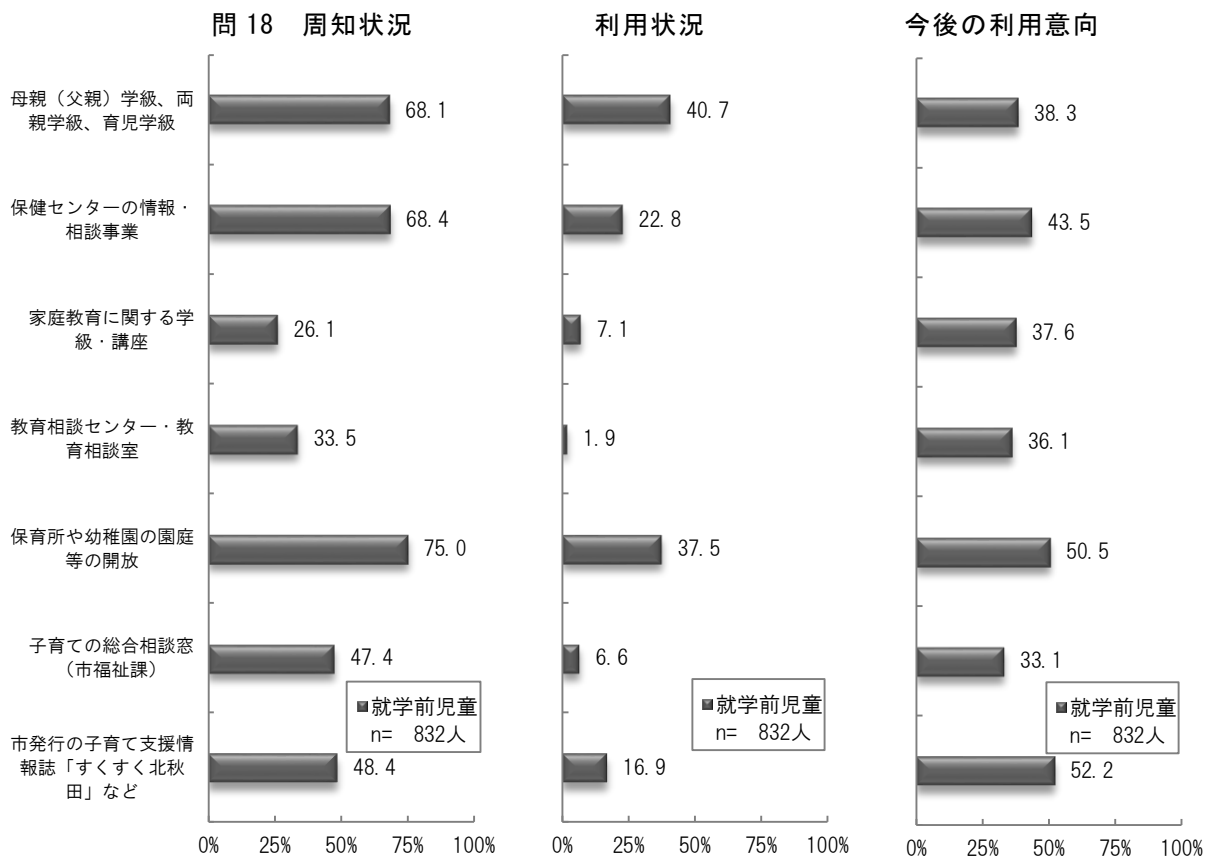


## 5 子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について

子育て支援事業の周知度をみると、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(75.0%)、「保健センターの情報・相談事業」(68.4%)、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」(68.1%)が上位を占めているものの、「家庭教育に関する学級・講座」(26.1%)、「教育相談センター・教育相談室」(33.5%)の周知度は低くなっています。

周知度が高くて利用が少ない事業は、「子育て総合相談窓(市福祉課)」(6.6%)、「市発行の子育て支援情報誌「すくすく北秋田」など」(16.9%)があげられます。

今後の利用希望が多い事業は、「市発行の子育て支援情報誌「すくすく北秋田」など」(52.2%)、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(50.5%)の順に多くなっています。



## 6 地域の子育て支援の環境や支援への満足度と保育内容等について

地域の子育て支援の環境や支援に対する満足度の状況について、就学前児童では「普通」と「無回答」を除くと、「満足」と「やや満足」の計が 16.3%、「やや不満」と「不満」の計が 27.8%で後者が 11.5 ポイント上回っています。

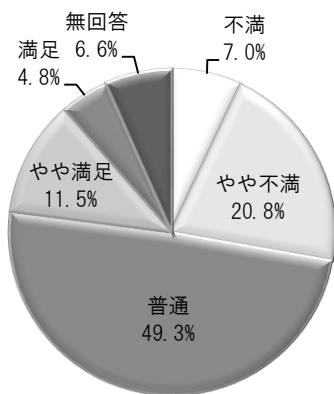
一方、小学校児童でも「満足」と「やや満足」の計が 21.5%、「やや不満」と「不満」の計が 25.9%で後者が 4.4 ポイント上回っています。

また、満足度に対する回答者の平均点数をみると、就学前児童が 2.85 点、小学校児童が 2.93 点で、ともに「普通（3点）」をやや下回っています。

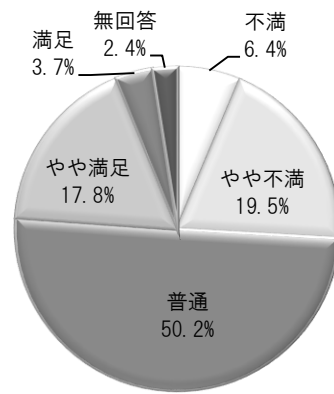
保育内容の満足度をみると、「たいへん満足している」と「おおむね満足している」の計が 43.7%、「やや不満がある」と「かなり不満がある」の計が 10.8%で前者が 32.9 ポイントと大きく上回っています。

保育料についての感想をみると、「少し高いと思う」（39.7%）、「ちょうどよい」（34.1%）、「かなり高いと思う」（19.2%）の順に多くなっており、ちょうどよいと思うおおよその金額をみると、「かなり高いと思う」と回答された方で月 10,000 円～20,000 円未満（46.6%）、「少し高いと思う」と回答された方も月 10,000 円～20,000 円未満（52.5%）が最も多くなっています。

問 30[問 14] 地域の子育て支援の環境や支援への満足度の状況

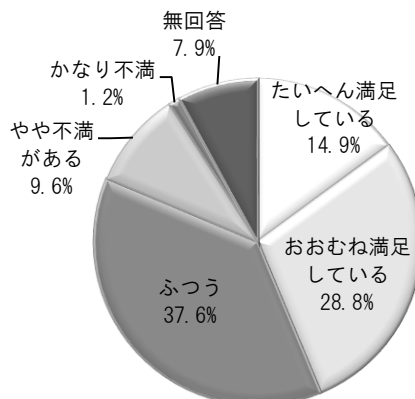


就学前児童  
n= 832人



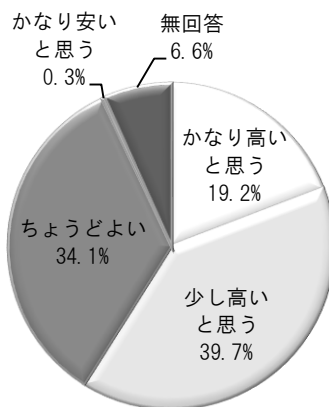
小学校児童  
n=1,131人

問 31 保育内容の満足度



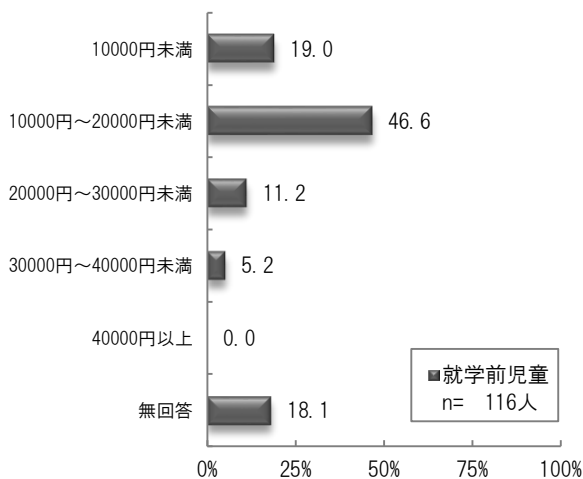
就学前児童  
n= 604人

問 31-1 保育料についての感想・ちょうどよいと思う金額

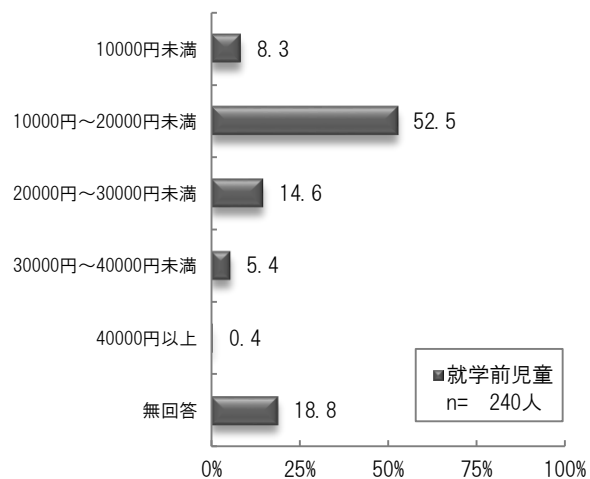


就学前児童  
n= 604人

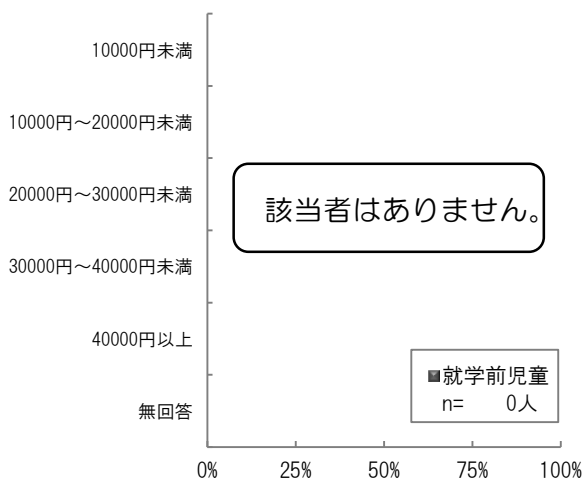
「かなり高いと思う」と回答した方



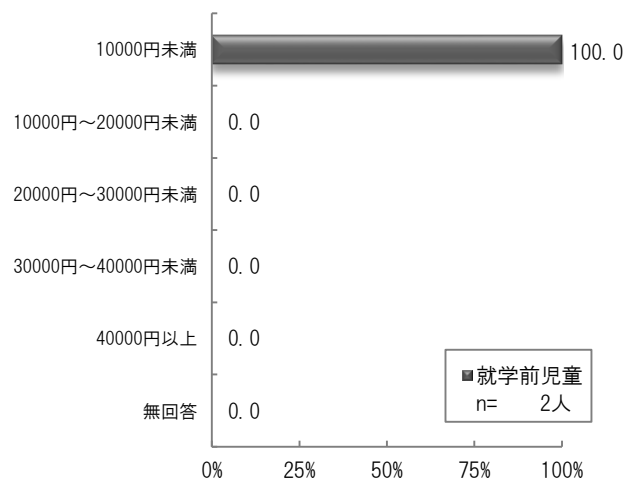
「少し高いと思う」と回答した方



「少し安いと思う」と回答した方



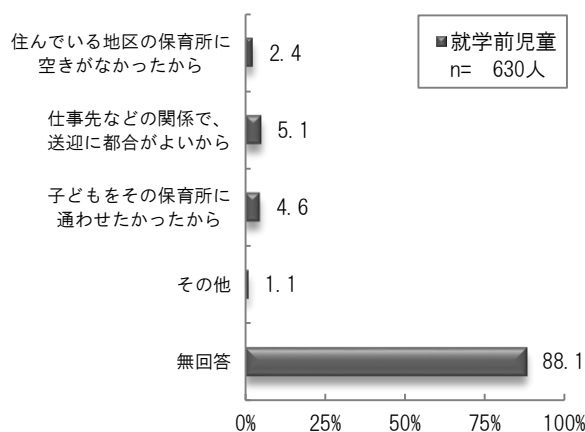
「かなり安いと思う」と回答した方



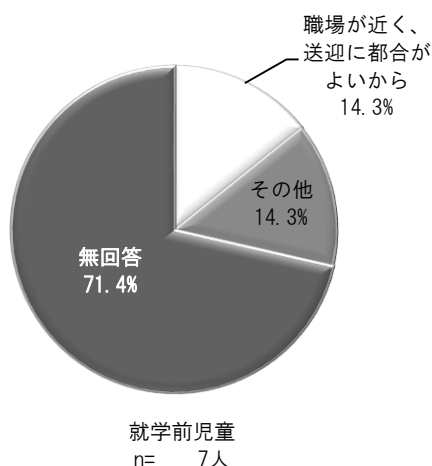
利用している教育・保育事業の実施場所について、北秋田市内の居住地区以外の保育所・幼稚園・認定子ども園を利用している理由をみると、「仕事先などの関係で、送迎に都合がよいから」(5.1%)、「子どもをその保育所に通わせたかったから」(4.6%)の順に多くなっていますが、「無回答」の比率が多いことから、回答者の戸惑いを感じられます。

利用している教育・保育事業の実施について、市外の施設を利用している方の理由をみると、「職場が近く、送迎に都合がよいから」「その他」(各 14.3%)となっており、料金については「高いと感じる」(28.6%)、「ちょうどよい」(14.3%)の順に多くなっています。事業内容の満足度については、「良い・満足している」(14.3%)、「ふつう」(28.6%)となっています。

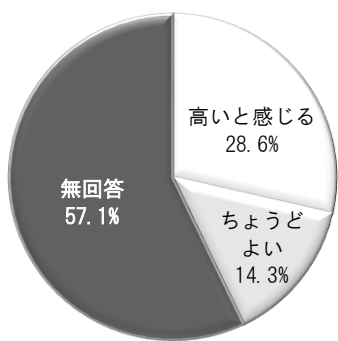
問 31-2 北秋田市内の居住地区以外の保育所・幼稚園・認定子ども園を利用している理由



問 32 市外の施設を利用している主な理由

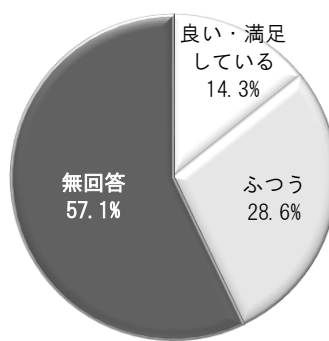


問 32-1 料金について



就学前児童  
n= 7

問 32-2 事業内容の満足度



就学前児童  
n= 7人

## 目 次

(2) 不定期の一時保育の利用について .....	57
(3) 宿泊を伴う一時保育の利用について .....	61
<b>3 放課後の過ごし方について .....</b>	<b>63</b>
(1) 平日の放課後の過ごし方について .....	63
(2) 土曜・休日の放課後児童クラブ利用について .....	68
(3) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用について .....	71
<b>4 出産を控えた方の預けたい場所・利用したい事業.....</b>	<b>73</b>
<b>5 子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について.....</b>	<b>74</b>
<b>6 地域の子育て支援の環境や支援への満足度と保育内容等について.....</b>	<b>75</b>